

ごんぼほりの会

第一回企画「原発を知る」

知らされていない原発、知られていない原発、知らない原発
原発を知り、その向こうをごんぼほる。

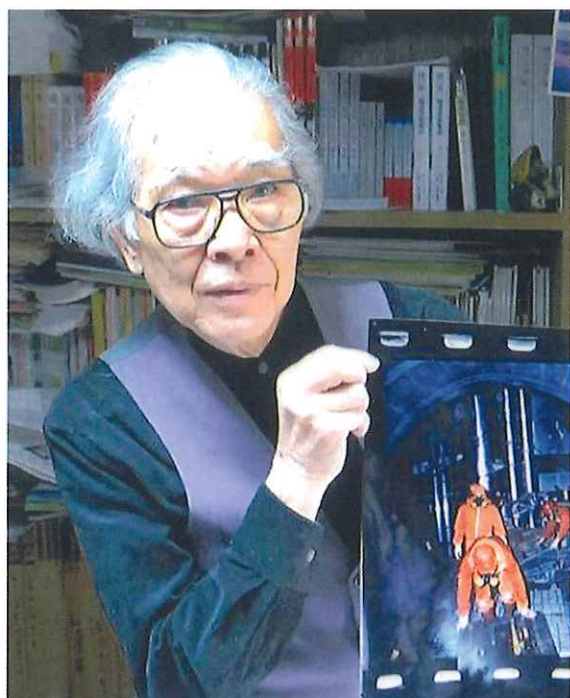


photo:Anthony Luke

講演者： **樋口健二**

日時： ①2018年 **6月23日(土)**

場所： 午後7:00～9:00

cafe かいめんこや

宮城県栗原市栗駒岩ヶ崎六日町 87

090-1169-1523

②2018年 **6月24日(日)**

午後2:00～4:00

南三陸ポータルセンター

宮城県本吉郡南三陸町志津川字御前下 51-1

0226-47-2550

入場料： どちらも **500円**

お問い合わせ ごんぼほりの会(南三陸志津川) 0226-46-5592(杉田)

【講演者略歴】

40数年、社会の底辺を見続けながら原発をはじめ経済成長の被害者、四日市公害、対馬イタイイタイ病、北海道じん肺、公害あるいは破壊された日本列島を写真に収めてきたフォトジャーナリスト。1937年長野県生まれ。'69年、四日市公害を7年間にわたり追いつけた作品を写真展『白い霧とのたたかい』で発表。'74年、国連主催世界環境写真コンテスト・プロ部門で写真集『四日市』が入賞。'87年、ニューヨークでの第1回核被害者世界大会で日本の原発被曝実態を報告。2001年、日本人として初めて核廃絶NGO「ワールド・ウラニウム・ヒアリング」創設の『核のない未来賞』教育部門賞を受賞。'11年、『原発崩壊』が第17回平和・協同ジャーナリスト基金賞の大賞を受賞。写真集に『四日市』『原発』『山よろけ』ほか多数。著書に『闇に消される原発被曝者』『原発被曝列島』『アジアの原発と被曝労働者』ほか多数。